

地域公共交通確保維持改善事業・評価報告様式(令和4年度)

令和5年6月29日

徳島市地域公共交通会議

協議会名	報告対象系統	目標 実績 目標達成率	目標値の設定方法 目標値の妥当性の評価 利用状況に対する分析・評価	今後の対応策 ※目標値の見直しを検討する場合はその対応方針についても記載	運輸局コメント
徳島市地域公共交通会議	浜野線	【目標】63,419人/年 【実績】24,831人/年 【目標達成率】39%	<p>(目標値の設定方法) 目標値の設定時期: 令和3年度新型コロナウイルスの影響を受ける以前と同等(令和元年度実績)の、平日187人、土日祝148人を目標として算出し、設定。</p> <p>(目標値の妥当性の評価) コロナ禍からの利用回復を見込み、令和元年度と同等と設定したが、想定よりもコロナ禍が長引いたことで、行動制限の影響を大きく受けたことが要因と考えられる(沿線の主要施設である動物園のR3入場者数は約17万人で、H27年(約27万人)比約38%減、R1年(約22万人)比約27%減)。また、長引くコロナ禍により、ライフスタイルが変化し、バス利用者が一定数戻っていない状態であると考えられ(市バスの令和4年度運賃収入は令和元年度比75%程度)、この点を考慮した目標の再設定が必要。</p> <p>(利用状況に対する分析・評価) 新規利用者が伸び悩んでおり、沿線人口も減少していることから、想定よりも下回ったと考えられる。</p>	<p>運行事業者や動物園と協力し、路線バスを利用して来園した人に対して特典を提示するなど、既存の乗車券や沿線の主要施設を活用し、利用者の増加を図る策を検討する。</p> <p>また、令和5年度の地域公共交通計画策定に関して、市民や公共交通利用者アンケート、公共交通事業者へのヒアリングを実施し、ニーズを把握して新たな目標を検討・設定し、利便性の向上や現在の利用者の維持確保に努める予定である。</p>	<p>令和4年度事業の目標は令和元年度実績をもとに算出しており、現状のニーズとの乖離が生じている可能性があるため、地域公共交通計画策定によるニーズ調査により正確なニーズに基づいた目標を設定いただくことを期待します。</p> <p>また、運行事業者及び動物園と協力して、バスによる来園者に特典を提示することを検討中とのことで、一時的な効果に止まらず、持続的な効果が得られる施策をご検討いただくことを期待します。</p>